

中学歴史プリント（過去問類似）

飛鳥時代

名前

得点

/10

問1 壬申の乱に勝利して即位し、律令に基づく天皇中心の国づくりを強力に進めた人物は誰ですか。（2024年 岩手県公立入試 類似）

1. 天武天皇 2. 聖武天皇 3. 推古天皇 4. 桓武天皇

問2 奈良時代の711年に、現在の群馬県高崎市にあたる場所に設置された多胡碑には、ある法律に基づいて新しく郡が置かれた経緯が記されています。この時期に日本が中国の制度を参考にして導入し、全国的な行政組織の整備や中央集権化の根拠となった法律の総称を答えなさい。（2016年 群馬県公立入試 類似）

1. 律令 2. 十七条の憲法 3. 冠位十二階 4. 公事方御定書

問3 7世紀後半、大和政権が唐や新羅からの侵攻に備えて、主に東国から徴兵した兵士を九州北部の警備にあてた制度を何と呼びますか。（2025年 奈良公立入試 類似）

1. 防人 2. 健児 3. 衛士 4. 足軽

問4 天智天皇の死後に発生した大規模な後継者争いである壬申の乱に勝利し、即位したのち、天皇を中心とする強力な中央集権国家の体制を整えた人物を次の中から選びなさい。（2025年 栃木公立入試 類似）

1. 天武天皇 2. 推古天皇 3. 聖武天皇 4. 桓武天皇

問5 飛鳥時代から近世までの歴史的な出来事を振り返ると、日本は常に他国の進んだ仕組みを学び、自国の政治に反映させてきました。「大化の改新」や「大宝律令の制定」に先立って行われた、小野妹子の派遣にはどのような背景や目的がありましたか。（2024年 奈良公立入試 類似）

1. 大陸の進んだ制度や文化を直接吸収し、天皇を中心とした中央集権国家の基盤を整えるため
2. 唐へ渡った仏教の僧侶である鑑真を日本へ連れ帰り、正しい戒律を広めるため
3. 藤原道長のような摂政が政治の実権を握るために、中国から軍事的な支援を得るため
4. 平安京への遷都を成功させるために、大陸の都市計画を模倣する許可を得るため

問6 大宝律令が制定されたころ、中央の都から地方を統治するために、全国に置かれた「国」へ派遣された官吏を何と呼ぶか、最も適切なものを選びなさい。（2021年 宮城県公立入試 類似）

1. 国司 2. 地頭 3. 守護大名 4. 県令

問7 飛鳥時代の天武天皇の時代にあたる7世紀後半につくられたことが判明し、708年に発行された和同開珎よりも古い、現時点で日本最古とされる銅銭の名称を次の中から選びなさい。（2018年 千葉県公立入試 類似）

1. 富本銭 2. 和同開珎 3. 寛永通宝 4. 永楽通宝

問8 現存する世界最古の木造建築である法隆寺の金堂に安置されている、釈迦三尊像などの仏像に見られる彫刻様式の特徴を説明したものとして適切なものはどれか。（2017年 岐阜公立入試 類似）

1. 中国の北魏などの影響を受け、アーモンド形の目や、アルカイック・スマイルと呼ばれるかすかな微笑みが表現されている。
2. 平安時代の貴族の好みを反映し、寄木造の技法によって穏やかで優美な表情に仕上げられている。
3. 鎌倉時代の武士の力強さを象徴し、血管や筋肉の動きを写実的に表現した力強い造形である。
4. 唐の時代の豊かな影響を受け、丸みを帯びた顔立ちと豊満な体格が強調された写実的な様式である。

問9 663年に朝鮮半島の西側沿岸部（現在の錦江の河口付近）で起きた白村江の戦いで敗れた後、日本国内で強化された防衛政策として正しいものはどれですか。（2015年 佐賀公立入試 類似）

1. 唐や新羅の侵攻を警戒し、対馬や北九州などに「防人」を配置し、水城や山城を築いた。
2. 唐との友好関係を回復させるため、最澄や空海を遣唐使として派遣し、大陸の文化を導入した。
3. 元（モンゴル帝国）の再来に備え、博多湾の沿岸に石築地（元寇防塁）を構築した。
4. 国内の武士を統制するために「御成敗式目」を制定し、軍事的な結束を固めた。

問10 7世紀の初め、聖徳太子（厩戸王）が推古天皇の摂政として政治を行っていた時期に、中国の進んだ制度や文化を取り入れるために派遣された使節を何といいますか。（2021年 熊本県公立入試 類似）

1. 遣隋使 2. 遣唐使 3. 日宋貿易船 4. 朝鮮通信使

答え合わせ・解説

問1	答え 1 天武天皇	大海人皇子は壬申の乱で勝利を収めた後、天武天皇として即位しました。天武天皇は、律令の編纂に着手したり、それまでの「大王」に代わって「天皇」の称号を本格的に使用し始めたりするなど、強力な指導力を発揮して国家の基盤を固めました。
問2	答え 1 律令	多胡碑は「日本三古碑」の一つであり、朝廷の命令によって「多胡郡」が新たに誕生したことを記念して建てられました。これは、当時の政府が「律令」という統一的な法体系に基づいて全国を支配しようとしていた実態を物語っています。聖徳太子が定めた冠位十二階や十七条の憲法も中央集権化への一歩ですが、全国を網羅する法制度として完成したのは律令の時代です。
問3	答え 1 防人	白村江の戦いでの敗北を受けて整備された防衛体制の一環として、九州の防備を担ったのが「防人」です。主に東国の農民が徴兵され、3年間の任期で九州へと送られました。この防人たちの故郷を思う心情などを詠んだ歌は「防人歌」として万葉集にも数多く収められています。
問4	答え 1 天武天皇	天武天皇は、大海人皇子として壬申の乱で大友皇子（天智天皇の子）を破って即位しました。即位後は、官僚組織の整備や「天皇」という称号、「日本」という国号の使用を開始するなど、律令国家としての基盤となる中央集権的な仕組みを強力に推進しました。
問5	答え 1 大陸の進んだ制度や文化を直接吸収し、天皇を中心とした中央集権国家の基盤を整えるため	聖徳太子が小野妹子を遣隋使として派遣した背景には、国内の豪族を抑え、天皇を中心とした強力な支配体制を築くという目的がありました。そのためには、当時東アジアで最も進んでいた隋の官僚制度や法律、仏教などの思想を学ぶ必要がありました。この流れが後の律令国家の形成（大宝律令など）へとつながっていくことになります。
問6	答え 1 国司	律令制度のもと、全国は国・郡・里（郷）という行政単位に分けられた。このうち「国」の行政・司法・軍事などを統括するために、中央の都から貴族が派遣された。これが国司である。これに対し、その下の単位である「郡」を治める郡司には、その土地の有力な豪族が任命された。
問7	答え 1 富本銭	長らく708年発行の和同開珎が日本最古の貨幣とされてきましたが、1990年代に奈良県の飛鳥池遺跡から大量の銅銭や鋳型が発見されたことにより、それより古い7世紀後半にはすでにこの貨幣が製造されていたことが実証されました。これにより、日本貨幣史の定説が塗り替えられました。
問8	答え 1 中国の北魏などの影響を受け、アーモンド形の目や、アルカイク・スマイルと呼ばれるかすかな微笑みが表現されている。	飛鳥文化の仏像、特に法隆寺金堂の釈迦三尊像は、鞍作止利（止利仏師）によって制作された。中国の北魏の様式を継承しており、左右対称の幾何学的な衣のひだや、独特の微笑みを浮かべた表情にその特徴が見て取れる。
問9	答え 1 唐や新羅の侵攻を警戒し、対馬や北九州などに「防人」を配置し、水城や山城を築いた。	白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した日本は、その後の報復や日本本土への侵攻を強く恐れました。そのため、天智天皇（中大兄皇子）は、対馬や壱岐、北九州などの国防の最前線に「防人（さきもり）」と呼ばれる兵士を配置するとともに、大宰府を守るための「水城（みずき）」や、朝鮮式山城を各地に築いて防衛体制を急いで整えました。また、都も内陸の大津宮（近江大津宮）へと移されました。
問10	答え 1 遣隋使	聖徳太子は、天皇を中心とした中央集権的な国家体制を築くため、当時の中国の王朝である隋に使節を送りました。これが遣隋使です。その後、中国の王朝が交代すると遣唐使が派遣されるようになりますが、小野妹子が派遣された時点では隋が中国を統一していました。